

クラス番号	614	担当教員名	日月 裕
テーマ	医療、福祉のシステムを考える		
著書・論文	【論文】 The networks from medical knowledge and clinical practice have small-world, scale-free, and hierarchical features Physica A 392(2013) 6084-6089 Clinical Diagnoses Following Zipf's Law. Fractals Volume 10 Number 1		
研究課題等	病院原価計算・原価管理システム運用のための情報システムの構築と運用 医療における線形と非線形の問題 病院原価計算・原価管理研究会報告書(2011) 【研究課題】 医療情報、医療におけるカオス・複雑系、ターミナルケア		
ゼミナール概要			
キーワード：医療システム、医療問題、医療の質、医療不信、医療現場			
<p>目的、内容、方法等：</p> <p>1990年ごろより、医療はサービス業であるという認識が高まり、それに伴い病院サービスの向上のために、ホテルやスチュワーデスを手本とした職員の接客訓練が盛んに行われました。さらに、そのころより患者を「患者様」と呼ぶ病院が増えてきました。これらの試みは全て、患者はお客様であるという考えから生まれました。しかし、それによって患者側の医療への満足度や信頼性が上昇したのでしょうか。調査などから、形式的な接客改善は患者の満足度にはあまり影響しないことが示されています。さらに、患者様という呼び方が医療への信頼度を増すよりも、病院に対する暴力、暴言、理不尽なクレームを行う、いわゆるモンスターペーシェントの増加の一因になったとも言われています。このように、医療は普通のサービス業とは異なった側面を持っています。このような異なった側面、医療の特徴を理解することがこのゼミの一つの目標であります。病院などの医療システムは非常に複雑なシステムです。医師をはじめとした、医療の専門家集団と、事務系との密接な相互作用によって成り立っています。病院をマネジメントするためには、それら専門家集団が行っている医療の現場の状況と考え方の理解が必須であります。</p> <p>私は医師として20年以上、臨床の場にいました。主に、麻酔、集中治療などの最先端医療とホスピス、ターミナルケアなど福祉にも通ずる領域に関与してきました。さらに、7つの病院の医療情報システムの構築に参加する機会を得て、病院事務、病院のマネジメントの実態について知る機会を得ました。それらの、知識をなるべく、皆さんに伝えていければよいと考えています。</p> <p>授業計画：</p> <p>病院の実際のシステム、現場の状況を学ぶことから始めようと考えております。</p> <p>3年次の前期は、まず、病院システムについて書いた本の輪読を行います。なるべく、テーマごとに短く完結した文章を選びます。一つのテーマは一人で読んでもらいます。そして、その中の専門用語、内容について解説を加えてもらいます。前期の最後にグループ分けを行い、輪読にて読んだ内容に沿ったテーマを各グループに割り当てます。3年次の後半はそのテーマに従った、調査を主に行ってもらいます。調査結果はレポートとパワーポイントスライドにして毎週発表してもらいます。</p> <p>3年次の終わりごろより、今までのグループワークの内容を参考にして各自で卒論のためのテーマの決定を行います。</p>			
担当教員からのメッセージ			
	<p>自発的な勉強が最も必要です。ゼミは学生が何かをしなければ何も起こりません。積極的な参加を望みます。</p> <p>コンパなどは学生自らが企画してください。</p>		